

大阪教区伝研の会

公開講座

一から読む『浄土論註』

(第2回)

はからずも「親鸞」と名のられた越後時代の宗祖。そこにおかれて、生活の現場を目の当たりにされた親鸞聖人は、天親菩薩から曇鸞大師へと受け継がれた浄土論、浄土論註の学びを深められました。この度、大阪教区伝研の会では、宗祖親鸞聖人が大切にいただかれた『浄土論註』を改めて一から読み進めていく公開講座を開催させていただくことになりました。

どなたでも聴講できますので、たくさんの方のご参加をお待ちしております。

記

日 時	2月2日(金) 午後6時～午後8時まで
会 場	難波別院 同朋会館1階 講堂
講 師	<small>みつかわ まこと</small> 光川 眞翔氏 (教学研究所 助手)
内 容	『浄土論註』の全体像 ～論註を読むにあたって②～
テキスト	「解説浄土論註(改訂版)」 蓑輪秀邦編 東本願寺出版部 約3800円 ※お手数ですが、各自でご準備下さい。 東本願寺出版部へお問い合わせ下さい。 TEL 075-371-9189
参加費	1000円

以上

今後の予定

*第3回 2018年6月 午後6時～午後8時 於難波別院

主催 大阪教区伝研の会【事務局 正受寺 TEL 0721-23-6048】